

第2小委員会

社 会
(地図)

別紙様式2

報 告 書

令和2年7月22日

第12地区教科書採択教育委員会協議会長 程野仁様

第12地区教科書採択調査委員会第2小委員会委員長 寺島康博

先に諮問のあった令和3年度から使用する中学校用教科用図書について、社会科・地図の教科書見本の調査研究結果を次のとおり報告します。

記

1 調査研究の経過

第1回調査委員会（6月29日）

- (1) 配付された2者の教科書について、調査研究の観点や手順を協議した。
- (2) 各者の教科書を調査研究し、次回の選定委員会での検討資料とすることを確認した。

第2回調査委員会（7月9日）

- (1) 調査研究の観点や手順に基づいて作成した調査研究資料について協議した。
- (2) 報告書作成のための準備を行い、次回の調査委員会での協議内容を確認した。

第3回調査委員会（7月16日）

- (1) 作成してきた報告書について、作成の趣旨に基づき協議した。
- (2) 配付された2者の教科書について、報告書を作成した。

2 調査研究の方法

発行者から送付された教科書見本について、以下の調査研究の観点に基づき、「教科書編集趣意書」及び北海道教育委員会が作成する「採択参考資料」を参考として行った。

ア 「取扱内容」について

- ・学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容及び学年・分野・領域等の目標、内容等に基づいて、正確、適切に取り上げられているか。

イ 「内容の構成・排列・分量等」について

- ・内容の構成が、地域の実態や生徒の生活経験及び興味・関心などに配慮されているか。
- ・内容の排列が、学年の発達段階に応じて、体系的、発展的に組織されているか。
- ・内容の分量が、各分野や領域ごとに適切におさえられているか。

ウ 「使用上の配慮等」について

- ・生徒の学習意欲を高める工夫がなされているか。
- ・自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫されているか。
- ・目次、索引、注、諸表など、使用上の便宜は配慮されているか。

3 見本本の総合所見

(1) 東京書籍 「新しい社会地図」

- 社会科の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。
 - ・「世界全図」において、中心からの距離と方位が正しい地図と面積が正しい地図を比較したり、日本と世界の国々との時差を調べたりする活動
 - ・「世界州別図」において、世界の州の境を読み取ったり、第二次世界大戦前のアフリカ独立国を調べたりする活動
 - ・「世界主要地域詳細図」において、アメリカ合衆国の等時帶線を読み取ったり、西アジア・環地中海地域のパイプラインの位置を調べたりする活動
 - ・「世界の資料図」において、世界のエネルギー資源の分布と貿易を調べたり、SDGs の目標と課題解決に向けた取組を調べたりする活動
 - ・「日本全図」において、我が国の東西南北端や北方領土・竹島・尖閣諸島の位置を調べたり、我が国の領土や排他的経済水域の範囲を読み取ったりする活動
 - ・「日本地域別詳細図」において、高速道路網による他地域との結び付きを調べたり、世界遺産のある県を調べたりする活動
 - ・「日本の資料図」において、日本の人口分布や増減率の特色を読み取ったり、日本の火山と地震の分布から、災害と向き合う方策を考えたりする活動
- 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、一般図に「注目したい記号」を設け、地図の読図を通して分かることを地域の特色を踏まえて整理したり、資料図にキャラクターの吹き出しを設け、テーマに沿って考察したりするなど、考えを深めたりする学習活動が取り上げられている。

(2) 帝国書院（中学校社会科地図）

- 社会科の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。
 - ・「世界全図」において、ヨーロッパ中心の面積が正しい地図や東京からの距離と方位が正しい地図を比較したり、日本と世界の国々との時差を調べたりする活動
 - ・「世界州別図」において、アジア州の境界を読み取ったり、ヨーロッパの位置を、同緯度・同縮尺の北海道と比較したりする活動
 - ・「世界主要地域詳細図」において、モスクワからの各都市への距離や時間から国土の広さを読み取ったり、アメリカやカナダの国立公園の分布を調べたりする活動
 - ・「世界の資料図」において、東アジアと日本の交流を調べたり、持続可能な社会を実現するための取組を調べたりする活動
 - ・「日本全図」において、我が国の東西南北端や北方領土・竹島・尖閣諸島の位置を調べたり、我が国の領土や排他的経済水域の範囲を読み取ったりする活動
 - ・「日本地域別詳細図」において、高速道路網による他地域との結びつきを調べたり、地形の特徴から発達した農産物の違いを読み取ったりする活動
 - ・「日本の資料図」において、農業や工業の分布の特色を読み取ったり、東京都周辺の地形図から発生しやすい自然災害とその対策を調べたりする活動
- 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、一般図に「地図活用」のコーナーを設け、地図の読図や比較を通して分かることを整理したり、資料図に課題を設け、テーマに沿って考察したりするなど、考えを広げたり深めたりする学習活動が取りあげられている。

別紙様式1

番号 観点	新着番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	2・東書	第1学年 第2学年 第3学年	地図・701	新しい社会 地図
取扱内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会科の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・「世界全図」において、中心からの距離と方位が正しい地図と面積が正しい地図を比較したり、日本と世界の国々との時差を調べたりする活動 ・「世界州別図」において、世界の州の境を読み取ったり、第二次世界大戦前のアフリカの独立国を調べたりする活動 ・「世界主要地域詳細図」において、アメリカ合衆国の等時帶線を読み取ったり、西アジア・環地中海地域のパイプラインの位置を調べたりする活動 ・「世界の資料図」において、世界のエネルギー資源の分布と貿易を調べたり、SDGs の目標と課題解決に向けた取組を調べたりする活動 ・「日本全図」において、我が国の東西南北端や北方領土・竹島・尖閣諸島の位置を調べたり、我が国の領土や排他的経済水域の範囲を読み取ったりする活動 ・「日本地域別詳細図」において、高速道路網による他地域との結び付きを調べたり、世界遺産のある県を調べたりする活動 ・「日本の資料図」において、<u>日本の人口分布や増減率の特色</u>を読み取ったり、<u>日本の火山と地震の分布</u>から、<u>災害と向き合う方策</u>を考えたりする活動 			
内容の構成・排列	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、一般図に「注目したい記号」を設け、地図の読図を通して分かることを<u>地域の特色を踏まえて整理</u>したり、資料図にキャラクターの吹き出しを設け、テーマに沿って考察したりするなど、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、世界の諸地域において、一般図により諸地域を大観する学習の後に、考察する主題や生徒の興味・関心に応じて自然環境や農業等に関する資料図を選択できるよう構成するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。 			
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本と結び付きが強い世界の各州に、自然地形をとらえられる鳥瞰図を掲載したり、<u>北海道地方のテーマ資料</u>においてアイヌ語に由来する地名の資料図を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「この地図の地図記号・活用方法」に地図帳の活用例や学習の指針を示したり、関連する資料を示す「ジャンプ」を掲載したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫がなされている。 ○ 卷末に197か国及び47都道府県の統計をまとめて掲載したり、すべての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「Dマーク」(QRコード)を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。 			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習用デジタル教科書の発行が予定されている。 			

別紙様式1

番号 観点	発行者の鶴・暦	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
		第1学年 第2学年 第3学年	地図・702	中学校社会科地図
取扱内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会科の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・「世界全図」において、ヨーロッパ中心の面積が正しい地図や東京からの距離と方位が正しい地図を比較したり、日本と世界の国々との時差を調べたりする活動 ・「世界州別図」において、アジア州の境界を読み取ったり、ヨーロッパの位置を、同緯度・同縮尺の北海道と比較したりする活動 ・「世界主要地域詳細図」において、モスクワからの各都市への距離や時間から国土の広さを読み取ったり、アメリカやカナダの国立公園の分布を調べたりする活動 ・「世界の資料図」において、東アジアと日本の交流を調べたり、持続可能な社会を実現するための取組を調べたりする活動 ・「日本全図」において、我が国の東西南北端や北方領土・竹島・尖閣諸島の位置を調べたり、我が国の領土や排他的経済水域の範囲を読み取ったりする活動 ・「日本地域別詳細図」において、高速道路網による他地域との結び付きを調べたり、地形の特徴から発達した農産物の違いを読み取ったりする活動 ・「日本の資料図」において、農業や工業の分布の特色を読み取ったり、東京都周辺の地形図から発生しやすい自然災害とその対策を調べたりする活動 			
内容構成・排列	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主題的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、一般図に「地図活用」のコーナーを設け、地図の読図や比較を通して分かることを整理したり、資料図に「学習課題」を設け、テーマ（防災、環境、日本との結びつき等）に沿って考察したりするなど、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、世界の諸地域において、一般図により諸地域を大観する学習の後に、考察する主題や生徒の興味・関心に応じて環境問題や日本との結び付きを示した資料図を選択できるよう構成するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。 			
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 世界の各州に生活・文化、産業などのイラストを配した鳥瞰図を掲載したり、北海道地方の資料において、開拓の歴史とアイヌ語地名の資料図を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「地図帳の使い方」に地図帳の活用例や学習の指針を示したり、関連性の深い内容を示す矢印マークを掲載したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 卷末に197か国及び47都道府県の統計をまとめて掲載したり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コード（QRコード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。 			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。 			